

## 1. むらづくりの主体

(1) 名 称 ふりがな 農事組合法人 のうじくみあいほうじん 矢木 啓農 2 1 やぎえいのう

(2) 所 在 地 ふりがな 富山県砺波市矢木 6 6 とやまけんとなみしやぎ

(3) 地区の規模 集落の集合体

(4) 組織の性格 地縁的な集団

(5) 代表者の氏名(敬称略)、役職 ふりがな

氏 名：みずの いさお 水野 勲

役 職：組合長

## 2. 地区の概要

総人口	農(林、漁)業 就業人口	総世帯数	総土地面積	耕地	採草放牧地	山林	
844 人	43 人	306 戸	- ha	61 ha	- ha	- ha	
農家戸数	販売農家数	専業農家	第 種兼業農家	第 種兼業農家	主業農家	準主業農家	副業的農家
43 戸	43 戸	1 戸 (2.3%)	- 戸 ( - %)	42 戸 (97.7%)	1 戸 (2.3%)	- 戸 ( - %)	42 戸 (97.7%)
地域指定状況			農業地域類型区分				
農振：平成 1 6 年度 森林： - 都市計画：有 その他： -			市 町 村		当 該 地 区		
			平地農業地域		平地農業地域		

### 3. むらづくりの内容及び成果

#### (1) 地域の沿革と概要

砺波市は、富山県南西部に位置し砺波平野の中央に位置する水田地帯である。特に、「カイニョ」と呼ばれる屋敷林に囲まれた農家が、碁石を散りばめたように点在する「散居村」と呼ばれる全国的に有名な美しい田園風景が広がっている。

砺波市では全国から30万人もの観光客が訪れる「チューリップフェア」をはじめ、「花しょうぶ祭り」「庄川ゆずまつり」「コスモスウォッチング」など、1年を通して農業を中心とした様々なイベントがあり、県内外から大勢の観光客が訪れている。

矢木地区は、砺波市の中心部にあり、北陸自動車道や国道359号線、砺波中部広域農道に囲まれた地域である。また、同地区は、県の花「チューリップ」発祥の地であり、農作物として、水稲・大豆・チューリップを主体に作付けされている。



図1 位置図

#### (2) むらづくりの動機、背景

##### ア むらづくりを推進するに至った動機・背景

従来、地区の水路や農道の草刈り、水路の泥上げ活動といった農地・農業用水等の保全管理は、農家が主体となって実施していた。

近年、地区内に大規模住宅団地が造成されるなど、混住化が進み県道359号線の拡張工事が終わった頃からゴミの不法投棄が増加するなど、環境保全管理活動が低下してきた。そのため、増加しつつある新興住宅地の住民（非農家）の参加も必要と考え、地域の農業組織である「(農)矢木営農21」が、中心母体となって、「みんなが生活する環境は、農業者だけではなく、地域住民全員で住み良い環境を作ろう」という機運を高め、「子供たちに素晴らしい環境をプレゼントします」というスローガンを立て環境保全活動を中心としたむらづくりを行うこととなった。

##### イ むらづくりについての合意形成の過程とその内容

むらづくりの手始めは、矢木地区自治会や(農)矢木営農21の前身である「矢木営農組合21」、高寿会、壮年会、チューリップ児童クラブ、婦人会矢木支部といった矢木地区の各組織が連携し、地区内の新興住宅地の非農家に対し用水路等の重要性・メリットを丁寧に説明することから行われた。さらに、環境保全活動の啓発のために、平成17年4月に「準備委員会」を設置し、矢木地区の農地・農道・水路等の管理、ゴミ等の環境問題、各団体の連携体制、共同活動などの取組方針について、8回もの話し合いを重ね、平成18年4月に集落の全163戸が参加して「矢木地区環境保全推進委員会」を立ち上げた。設立後は、一回に45名程の住民が参加し、参加者自らが体験の中から学びあうワークショップ形式を取り入れるなど、集落にある資源の種類や量、農村環境に係る情報等についてさらに深く調査し、環境問題の解決について話し合いを重ねた。

## ウ 現在に至るまでの経過

設立された矢木地区環境保全推進委員会は、(農)矢木営農21と連携しながら活動することとなり、全国に先駆けて環境への取組のモデル地区として、平成18年度より「農地・水・環境保全向上対策事業」に取り組むこととなった。

なお、矢木地区環境保全推進委員会の運営役員は、(農)矢木営農21等を中心に選任され、活動を継続している。このような環境保全活動を中心としたむらづくりとして、年間4回の農道の草刈活動、用水路の泥上げ、地域上げての清掃活動、広報誌の発行、環境デーの設置、スローガンの作成などに取り組むこととし、その活動の中心を(農)矢木営農21が担っている。

## (3) むらづくりの推進体制

### ア 当該集団等の組織体制、構成員の状況

#### 「(農)矢木営農21」の設立経過

むらづくりの中心となった矢木集落では、平成12年に、チューリップ栽培農家3戸を除く41戸で「矢木営農組合21」が設立された。設立後は、休耕田への大豆栽培を主体としていたが、平成16年より水稻を含めた矢木地区の農地全体を守り担う組織への再編を検討した結果、平成17年3月より完全協業化体制とした。さらには、先の見えにくい農業情勢の中、地域を永続的に守る強固な営農組織へと発展することを目指し、平成21年1月に法人化し、(農)矢木営農21を設立した。

#### 「(農)矢木営農21」の組織体制

(農)矢木営農21は、組合長を中心に総務部、労務部、栽培部、機械部で組織され、自治会と相互協力してむらづくりを推進している。(農)矢木営農21の主要な運営委員が、矢木地区環境保全推進委員会の委員に選任されており、また構成員全員が環境保全活動に参画している。

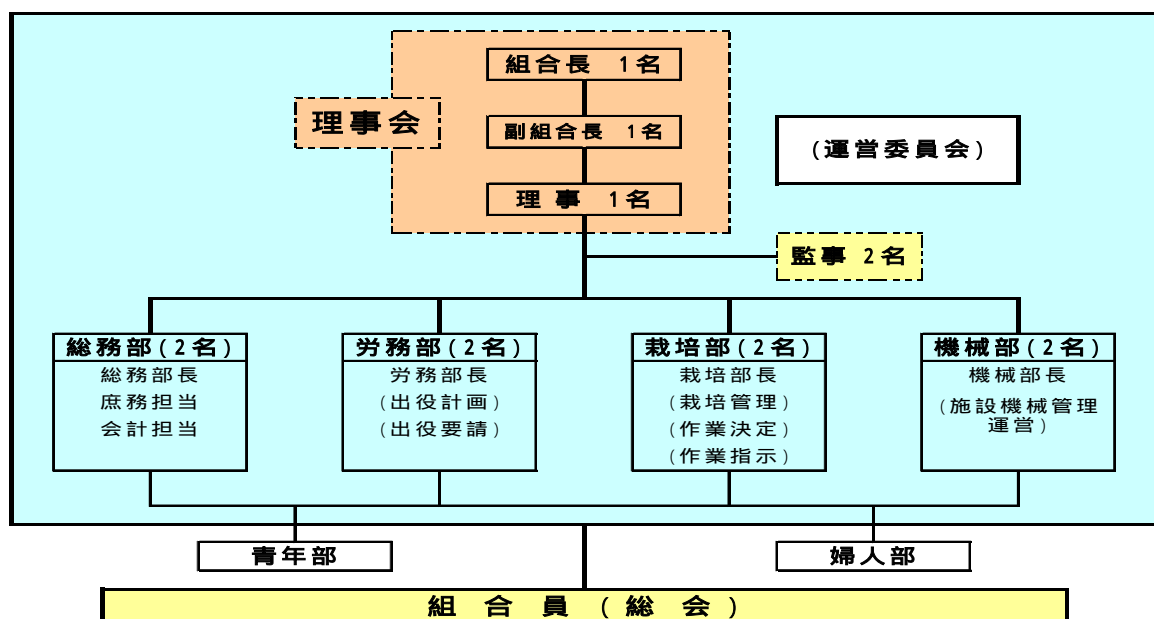


図2 (農)矢木営農21の組織体制図

## イ 当該集団等と連携してむらづくりを行う他の組織、団体及び行政との関係

### 矢木自治会

(農)矢木営農21と連携して活動を実施している。今後の活動目標を定めるにあたり、地域の資源や環境の現状と改善策について検討した際には、自治会の会合において多くの意見が出された。その具体的な取り組みを(農)矢木営農21が自治会と協力して実施している。

### 高寿会

60歳以上の高齢者を中心に、(農)矢木営農21の組合員としてほ場管理作業の傍ら、道路沿いのゴミ不法投棄防止の巡回点検、清掃活動を実施している。また、「ふるさと再発見」ワークショップの講師として、矢木地区の昔話や農作業を子供たちに教えている。

### 壮年会

10月に行っている獅子舞(村祭り)や納涼祭の実働部隊で、近隣では廃れた「若衆報恩講」を行っている。(農)矢木営農21のオペレーターを担う人が多く、ゴミ不法投棄防止の看板設置や清掃活動を矢木地区環境保全推進委員会と連携して行っている。

### チューリップ児童クラブ

砺波夜高祭、左義長、雪ん子まつりへ参加している。また、子供達の夏休み期間を利用して、矢木地区環境保全推進委員会が主催する「環境ポスターコンクール」に多くの作品が集まり、農協支店に展示している。

### 婦人会矢木支部

年齢毎に7つのグループがあり、花壇作りを行っている。花壇は、「ロードガーデン矢木」「フラワーロード」「ふれあい広場」などにあり、四季折々の花が咲いている。(農)矢木営農21では、夏場の水やりなど維持管理に協力している。

### 庄西中学校PTA、庄下保育所保護者会

農道周辺の清掃活動、在来生物の育成活動を構成員と連携して実施している。現在、庄西中学校PTA、庄下保育所保護者会には(農)矢木営農21の組合員も多数参加していて、保育所の近くでビオトープづくりを計画している。

### 水土里ネット砺波(砺波市土地改良区)

農道、用排水路の整備・管理を行い、管理面などの指導・助言を行っている。土地改良区の役員は、(農)矢木営農21の役員を兼ねており、農道や用排水路の修理が必要な場合は、速やかに対応するとともに、農道の砂利ひきや洪水後の見回りも行っている。

### 砺波市、JAとなみ野庄西支店

事業推進上の助言・指導、特に事業導入時に関係機関との調整などを積極的に行っている。

## 砺波農林振興センター

(農) 矢木営農 2 1 への農業技術、組織運営などの助言・指導を行っている。

### ウ むらづくりに関しての、各集落の住民の当該集団等や連携する他の組織、団体との関係及び参加状況

様々な環境保全活動については、地域住民から年間で、のべ約1,500人が参加している。これは、ほぼ全世帯からの参加による活動となっている。

## (4) むらづくりの農業生産面への寄与状況

### ア 当該集団等の農業生産、流通面の取組み状況

#### 「(農) 矢木営農 2 1」の生産基盤の確立

(農) 矢木営農 2 1 で栽培された米等は、集落内の住民にも提供している。現在、育苗ハウス等を活用した園芸作物の栽培にも着手し、経営の複合化により安定した農業経営を進めている。

#### 環境に配慮した農業生産

環境に優しい農業生産面に配慮し、作物全般に亘ってブームスプレーヤーによる液剤防除を実施している。また、大豆の後作には毎年堆肥を施用し、地力の向上に努めている。新しく始めたカボチャ・ルッコラ・トウモロコシなどの野菜生産についても減農薬・減化学肥料栽培に取り組んでいる。

### イ 当該集団等による生産力の向上、生産の組織化、生産流通基盤の整備等への寄与状況 作物栽培の効率化

当地区は庄川扇状地にあるため、50haの水田の中には土質や作土深・排水性に差がある。そこで、協業化により転作作物である大豆・野菜等を作る場合に、排水の良いほ場で効率的に栽培することが可能となり生産性が向上した。

#### 生産技術の高位平準化

栽培技術の高位平準化を図るため、組合長が直接個々の農家に指示するのではなく、元生産組合長が組織する「ほ場見回り隊」による適期の巡回指導を実施した。その場で葉緑素計を使って診断し、ほ場や品種毎に肥培管理や水管理を徹底した。これにより、適正な穂肥施用や適正な水管理がなされるようになり、(農) 矢木営農 2 1 の収量・品質が改善され、経営内容も改善された。



写真 1 葉緑素計を使った肥培管理

#### 生産コストの低減

水稻育苗ハウスを集中化するとともに、各種農業機械の大型化と効率的利用により、生産コストを低減させることができた。

### ウ 当該集団等の活動による構成員等の経営の改善、後継者の育成・確保、女性の経営参画

## の促進状況

生産基盤の強化や冬季の労働力の有効活用として、育苗ハウスを有効利用したハウレンソウ栽培を開始した。特に、ハウレンソウの播種や収穫作業は、女性部が中心となり実施している。

冬期に出荷される「寒締めハウレンソウ」は、地元のイタリア料理店では「寒じめハウレンソウのクロスタータ(キッシュ)」などを開発し、冬季限定メニューとして人気を博している。また、砺波市内のホテルとは契約販売を行っている。

青年部については、様々な環境活動の中心部隊であるとともに、機械作業の専属オペレーターとして活躍する等、若い世代が確実に育成されている。



写真2 イタリア料理店との契約栽培



写真3 女性部中心の「寒締めハウレンソウ」

## (5) むらづくりの生活・環境整備面への寄与状況

### ア 当該集団等の生活・環境整備面の取り組み状況

#### 地区江ざらい(用排水路の土上げ)等

(農) 矢木営農21が中心となり、毎年春に非農家の住民も参加して、江ざらいを実施し、用排水路の簡易な補修は、自ら実施している。また、清掃活動は年間を通して集落全戸で定期的に行われている。

#### 年間4回の農道の草刈活動

春から秋にかけて集落全員による農道の草刈が実践されている。また、その時活用する草刈機2台は(農) 矢木営農21から、非農家に貸し出されている。

#### 矢木環境マップの作成

(農) 矢木営農21、壮年会、婦人会、児童会などの代表が集まって、一目で判る「環境マップ」を作成し、全戸に配布した。住民からは、『大変判りやすい』『環境を大切にしようという気持ちになった』と好評を得ている。

#### ビデオの貸し出し

環境保全活動の内容をビデオに撮り、編集して住民に貸し出しを行い、未参加の住民に対するの参加啓発に役立っている。



写真4 矢木地区環境MAP

## 広報「かんきょう矢木」の毎月発行

混住化の進行から、非農家を含めた地域内の連絡・連携をさらに促進するため、広報誌により活動の普及啓発を実施している。

## 「環境デー」の設置

誰にでもできる活動を目指して、6月から10月までの毎月15日を「環境デー」として位置付け、全戸でゴミ不法投棄防止巡回・清掃活動を地域ぐるみで展開している。

## スローガン（合い言葉）他

「子どもたちに素晴らしい環境をプレゼントします」を合い言葉にみんなで楽しく活動している。また、環境委員会として、親子で参加するワークショップや研修会を開いて、各地に視察研修を実施している。このような活動の結果、農地だけでなく農道や用排水路等農業用施設についても、地区全体で管理する体制が整った。



写真5 広報「かんきょう矢木」

## イ 当該集団等による生活条件の改善・整備、コミュニティ活動の強化、都市住民との交流等への寄与状況

コミュニティ活動の強化として、青年部の発案による「ビオトープ」づくり計画が立案され、住民活動の中心的活動として、庄下保育所周辺において建設計画が進められている。この計画では、トンボやホタルが飛び交う水辺づくりを中心に地域住民のほこりとなるような自然環境に即した施設にしようとして計画づくりが進展している。

また、『(農)矢木営農21』の名前の由来でもある21世紀を記念して、全住民がむらへの思いを書いた封書を、タイムカプセル(開封は50年後)に入れて埋める行事を実施するなど、地域全体で取り組む活動・行事を増やしている。

## ウ 当該集団等の活動による地域への定住促進、女性の社会参画の促進状況

当地区は、砺波市の中心部にあることから、今後、新興住宅地化がさらに進展することも予測されているが、このような混住化の中での環境保全活動が、農家のみならず非農家の住民を含めた地域への愛着を深めている。地域への愛着は、(農)矢木営農21婦人部を中心に、PTA活動の一環として、地区内にある「ロードガーデン矢木」には季節の花を植える活動にも結びついている。



写真6 ロードガーデン矢木